みんなの広場

届いたお手紙から みんなのおたより紹介

ありがとう

感謝・感謝。応援してくれた人々から、沢山のありがとうを、言ってもらえた石巻工業高校の球児のみなさん。すごい。今、見失われてきた大切な事を掲げた指導者の方々の教えに大きな拍手を送ります。心・技・体。技術面よりも、人の成長に重点指導目標に敬服。

あたりまえの事であるのに、なおざりにされてきた肝心な面に取り組まれてきたからこその姿勢。ますますの活躍に期待と希望を持つことができました。確実な一歩を踏み出せそうです。

近くの仮設団地にお陰さまで、集会所が完成しました。多くの方々の力で、ありがたい集いの場ができました。楽しい談話と笑いが広がります。地域の和のつながりが、石巻の未来、明日への一歩になる事を信じて、お力添えと関わりを持っていただいた皆様に感謝申し上げます。「ありがとう」。

感謝の気持ちを持ち続けているのが、明日への確かな一歩です…。（亀山明子）

文化財たんぼう ㊳

古語と石巻弁

石巻市文化財保護委員　谷川正明

かつて、奈良時代や平安時代には、中央語（当時の標準語）として使われていたことばで、現在では標準語としては使われていないことばを古語といいます。

今回は、その古語の名残をとどめている石巻弁の中から二つの方言を取り上げます。

＊タルヒ＝氷柱

古くは、水が氷（こおっ）た状態の物を「ひ」と言っていました。現代でも、氷雨とか、氷室などという言葉に名残がみられます。ですから、タルヒとは、「垂れた氷」の意味です。

古い用例として、源氏物語・末摘花の段の「朝日さす軒の垂水は解けながら…」の部分があります。平安貴族が普通に使う言葉でした。

その後、中央では氷柱という言葉が優勢になりましたが、石巻地方にはタルヒという言葉が残りました。「今年は、何年ぶりがで、立派なタルヒば、見だでば。」などと使います。タロヒ、タロンペ、タロッペなどと、発音にバリエーションがみられます。

また、池や田んぼ・道路などが氷った状態になったところを、石巻弁ではタッペといいます。これもタロヒから転用したものという説もあります。「道路がタッペになってっから、気を付けで行がいんよ」などと言ったものです。

この、タルヒの系統の方言は、タラシ・タルギ、タロミなどと、少しずつ姿を変えて、北関東の一部や東北地方全般、九州の一部などにも見られます。

＊モエル＝草木が芽生える、孵化する

すこし前までは、死語に等しくなっていた萌えるでしたが、オタク文化の隆盛に伴い、ある種の感情を表すことばとして、一躍復権しました。

万葉集に「石ばしる垂水の上のさわらびの萌え出づる春になりにけるかも」という、志貴皇子の有名な歌があります。本来萌えるは「草木が芽生える」という意味です。

燃えると語源は同じで、下から上にもやもやと立ち上る状態を表します。

ちなみに野菜のモヤシは、「豆の芽を萌やしたもの、芽を出させたもの」という意味から名づけられたものです。

この地方では、本来の「芽が出る」の意味のほかに、「山椒のモエコ摘んで来てけらいん」などと、「芽生えたもの、芽」を表し、名詞としても用います。また、「チャボの卵がやっとモエだ」などと、「卵からかえる、孵化する」という意味でも用います。

このように、単なる古語の残存という範囲を超えて、モエルという語を使う現象は、旧仙台藩以外ではあまりみられません。

投稿募集

皆さんからの投稿をお待ちしております。テーマに沿ったあなたのとっておきの話をお寄せください。

○テーマ　「ありがとう」
日常の生活の中で、皆さんの「ありがとう」に関する逸話（エピソード）をお聞かせください。

○字数　400字以内

○投稿方法　住所、氏名、年齢、電話番号を明記し郵送またはEメールにて秘書広報課あてにお送りください。掲載の場合はペンネームを可能としますので、ペンネーム希望の場合はその旨明記してください。

○注意事項
- 当月号に掲載する場合は前月の7日まで届いた分をご紹介します。（例）5月号掲載の場合は4月7日まで届いた分となります
- 公序良俗に反するものなどやスペースの関係上、投稿いただいたもの全てを掲載できるものではありません。また、字数などの関係で内容を調整させていただくことがあります。

問　秘書広報課　内線4025
〒986－8501（住所不要）
Eメール　ispubinfo@city.ishinomaki.lg.jp

キラッとパチリ

子ゾウが描いた桜の絵
保育所に贈られる

▲4月13日（金）、石巻市立井内保育所で行われた「子ゾウ・ゆめ花が描いた桜パネルの披露目会」で、真剣な表情で先生の話を聞く女の子をパチリ！